Asset Management One

運用報告書（全体版）

第４期<決算日2026年９月７日>

グローバル・オポチュニティ・パートナーズ・ファンド

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「グローバル・オポチュニティ・パートナーズ・ファンド」は、2026年９月７日に第４期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2024年９月30日から2034年９月６日までです。
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。
主要投資対象	世界の金融商品取引所（わが国および新興国を含みます。）に上場する株式（上場予定を含みます。）(＊1) （＊１）ＤＲ（預託証券）もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証書等（以下「ＤＲ等」といいます。）を含みます。
運用方法	投資アイデアの分析・評価や、個別企業の競争優位性、成長力の評価に基づき選定した質の高いと考えられる企業（「ハイクオリティ成長企業」といいます。）の中から、市場価格が理論価格より割安と判断される銘柄を組入候補とし、原則として10～25銘柄程度に厳選して投資を行います。 株式および先物取引等の運用にあたっては、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インク(＊2)に運用の指図に関する権限の一部を委託します。 なお、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクは、その委託を受けた運用の指図に関する権限の一部（株式および先物取引等の投資判断の一部）を、モルガン・スタンレー・アジア・リミテッド(＊3)およびモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・カンパニー(＊4)に再委託します。 （＊２）モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントのニューヨーク拠点であり、資産運用業務等を営んでいます。 （＊３）モルガン・スタンレーの香港法人であり、証券業務、投資銀行業務、ウェルス・マネジメント業務、資産運用業務等を営んでいます。 （＊４）モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントのシンガポール拠点であり、資産運用業務等を営んでいます。 株式（ＤＲ等を含みます。）の組入比率は、原則として高位を維持します。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
組入制限	・株式（ＤＲ等を含みます。）への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ・投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の５％以下とします。
分配方針	年２回の決算時（毎年３月および９月の各６日（休業日の場合は翌営業日。）に繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を対象として、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ※分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります

●当ファンドは、特化型運用を行います。特化型運用ファンドとは、投資対象に一般社団法人資産運用業協会規則に定める寄与度(＊)が10%を超える支配的な銘柄が存在し、または存在することとなる可能性が高いファンドをいいます。

●当ファンドは支配的な銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄に経営破たんや経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

（＊）寄与度とは、投資対象候補銘柄の時価総額に占める一発行体当たりの時価総額の割合、または運用管理等に用いる指数における一発行体当たりの構成割合をいいます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前９時から午後５時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

https://www.am-one.co.jp/

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC ワールドインデックス		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(配当込み、円換算ベース、為替ヘッジなし)(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
(設定日)				(9月27日)				
2024年9月30日	10,000	−	−	66,901.47	−	−	−	31,160
1期(2025年3月6日)	10,710	0	7.1	69,582.34	4.0	94.3	−	85,291
2期(2025年9月8日)	11,581	0	8.1	77,738.57	11.7	98.0	−	103,242
3期(2026年3月6日)	11,714	0	1.1	89,137.48	14.7	95.6	−	100,242
4期(2026年9月7日)	12,973	0	10.7	99,856.75	12.0	95.4	−	94,823

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。
(注2) 株式先物比率は、買建比率−売建比率です。
(注3) 参考指数はMSCI AC ワールド インデックス(配当込み、円換算ベース、為替ヘッジなし)であり、算出にあたっては米ドルベース指数をもとに委託会社が独自に円換算しています(以下同じ)。
(注4) MSCI AC ワールド インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています(以下同じ)。
(注5) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

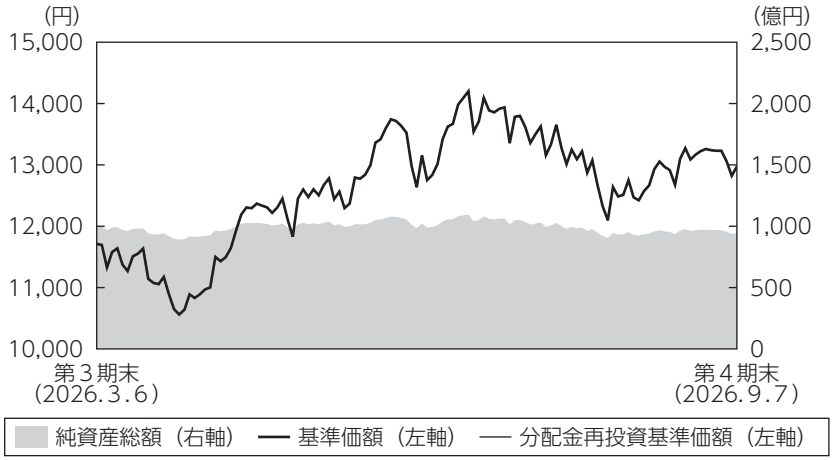
■当期中の基準価額と市況の推移

年月日	基準価額		MSCI AC ワールドインデックス		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率	(配当込み、円換算ベース、為替ヘッジなし)(参考指数)	騰落率		
(期首)	円	%	ポイント	%	%	%
2026年3月6日	11,714	−	89,137.48	−	95.6	−
3月末	10,561	△9.8	84,732.20	△4.9	96.7	−
4月末	12,107	3.4	94,564.95	6.1	98.5	−
5月末	13,418	14.5	99,179.39	11.3	100.5	−
6月末	13,856	18.3	100,012.88	12.2	99.0	−
7月末	12,098	3.3	98,614.93	10.6	98.0	−
8月末	13,240	13.0	102,385.10	14.9	97.9	−
(期末)						
2026年9月7日	12,973	10.7	99,856.75	12.0	95.4	−

(注1) 騰落率は期首比です。
(注2) 株式先物比率は、買建比率−売建比率です。

■当期の運用経過（2026年３月７日から2026年９月７日まで）

基準価額等の推移



第４期首：　11,714円
第４期末：　12,973円
（既払分配金0円）
騰　落　率：　　10.7%
（分配金再投資ベース）

（注１）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
（注４）当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

生成ＡＩ（人工知能）関連の設備投資需要の拡大により、テクノロジー関連を中心に企業業績が堅調に推移し、世界の株式市場が上昇したことが、基準価額にプラスに寄与しました。セクター別では、情報技術、金融の保有銘柄の株価上昇が主にプラスに寄与する一方、一般消費財・サービス、コミュニケーション・サービスの保有銘柄の株価下落が主にマイナスに影響しました。一方、ユーロや米ドルが対円で下落したことはマイナスに影響しました。

投資環境

グローバル株式市場は上昇しました。期初に、中東情勢の緊迫化と原油価格の上昇から、大きく下落しました。その後、地政学リスクへの過度の懸念が後退する中、生成ＡＩ関連の設備投資需要の拡大期待が続いた事で、テクノロジー関連を中心に、企業業績は堅調に推移し、株式市場は上昇しました。

為替市場では、主要通貨に対して円高が進みました。期中は、日本の拡張的な財政政策、日本と主要国の金利差等を背景に、主要通貨に対して円安が進みました。しかし、期末にかけて、日米当局による為替市場への協調介入などから、急激に円高が進行しました。

<MSCI AC ワールドインデックス（配当込み、円換算ベース、為替ヘッジなし）の推移>



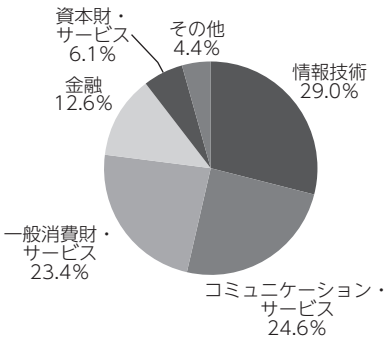
ポートフォリオについて

世界の上場株式に投資を行いました。投資アイデアの分析・評価や、個別企業の競争優位性、成長力の評価に基づき選定した質の高いと考えられる企業の中から、市場価格が理論価格より割安と判断される銘柄を厳選し、情報技術および一般消費財・サービス、コミュニケーション・サービスの組入比率を高位としました。一方で、ヘルスケアや生活必需品セクターについては、非保有としました。

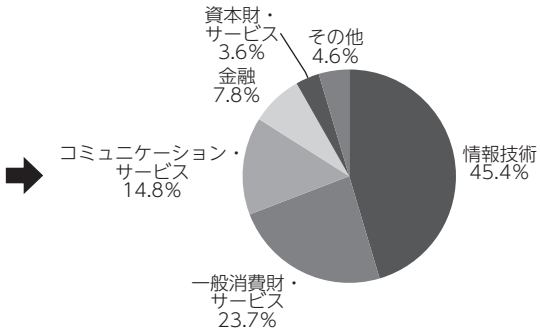
【運用状況】

○業種別組入比率

期首（前期末）



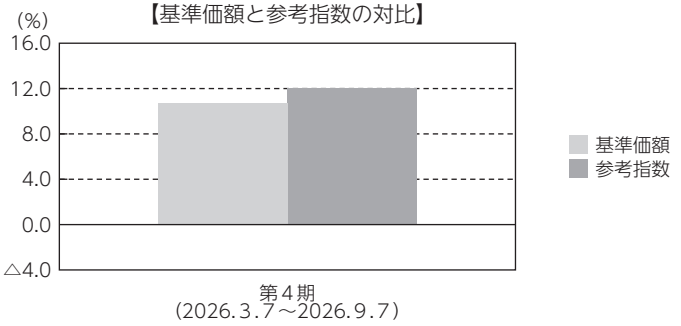
期末



（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）業種は各決算日時点でのＧＩＣＳ（世界産業分類基準）によるものです。
（注３）現金等はその他として表示しています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数であるＭＳＣＩ ＡＣ ワールドインデックス（配当込み、円換算ベース、為替ヘッジなし）の騰落率の対比です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

収益分配金につきましては基準価額水準等を勘案し、無分配とさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（１万口当たり）

項目	当期 2026年３月７日 ～2026年９月７日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－％
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	2,972円

（注１）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。
（注２）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第３位を四捨五入しています。
（注３）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

運用チームでは、業界環境や個別企業の業績動向などを踏まえ、常に保有銘柄に対する投資の前提を検証するとともに、マクロ環境の影響を受けにくい事業を特定することに注力しています。ポートフォリオで保有しているのは、財務内容が良好で、外部環境変化の影響を受けにくい企業です。引き続き徹底したボトムアップ・アプローチを通じ、長期にわたり持続的で質の高い成長が期待できる企業を選別し、株価の割安度を重視して少数の銘柄へ集中投資を行っていく方針です。

■１万口当たりの費用明細

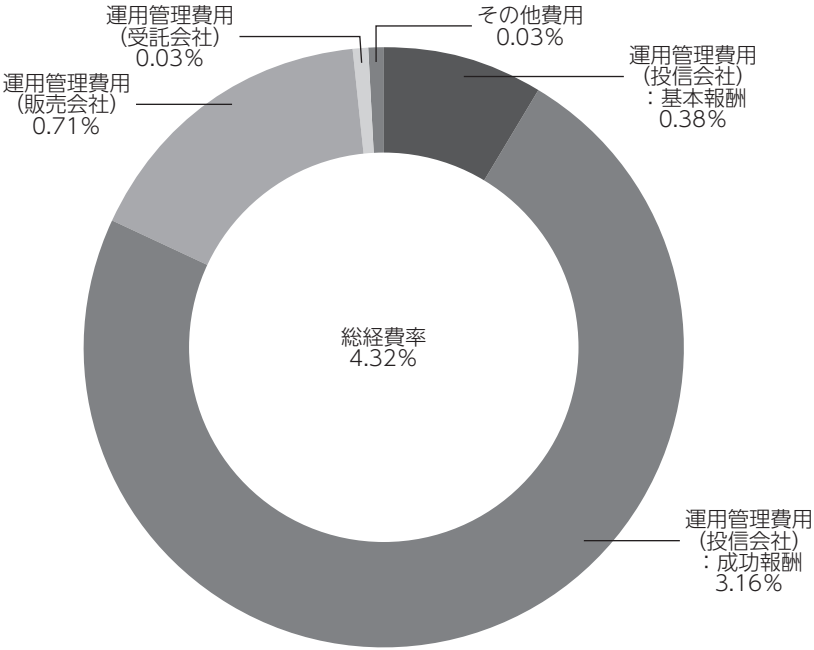
項目	第４期 (2026年３月７日 ～2026年９月７日)		項目の概要
	金額	比率	
(ａ) 信託報酬（基本報酬）	73円	0.574%	(ａ) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は12,632円です。
(投信会社)	(25)	(0.195)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(46)	(0.362)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.017)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(ｂ) 信託報酬（成功報酬）	202	1.603	(ｂ) ハイ・ウォーター・マークを設定し、仮基準価額がハイ・ウォーター・マークを上回る場合、上回った額の13.2%（税抜12.0%）以内の額を成功報酬として計上（基準価額に反映）します。決算日（または信託終了日）に成功報酬が確定し、ファンドから委託会社に支払われます。 成功報酬はファンドの運用実績に応じ委託会社が受け取る対価です。
(ｃ) 売買委託手数料	2	0.019	(ｃ) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(2)	(0.019)	
(ｄ) 有価証券取引税	7	0.052	(ｄ) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(7)	(0.052)	
(ｅ) その他費用	2	0.015	(ｅ) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.014)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	286	2.262	

(注１) ハイ・ウォーター・マークは、原則として、各計算期末の基準価額のうち過去最高の値（ただし分配金の影響を考慮する）とします。なお、設定当初は10,000円とします。
(注２) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注３) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注４) 比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
(注５) 信託報酬（成功報酬）には解約報酬を含みます。

（参考情報）

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は4.32%です。



（注1）1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注3）各比率は、年率換算した値です。
（注4）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況（2026年３月７日から2026年９月７日まで）

株　式

		買		売	
		株数	金額	株数	金額
国内	上場	千株 － (3,794.8)	千円 － (－)	千株 1,887.3	千円 2,033,124
外国	アメリカ	百株 6,143.85 (－)	千アメリカ・ドル 35,781 (－)	百株 32,891.92	千アメリカ・ドル 175,392
外国	香港	百株 12,374 (－)	千香港・ドル 142,032 (－)	百株 12,638	千香港・ドル 38,132
外国	台湾	百株 － (－)	千台湾・ドル － (－)	百株 3,350	千台湾・ドル 779,126
外国	韓国	百株 721.02 (－)	千韓国・ウォン 43,622,536 (－)	百株 117.69	千韓国・ウォン 26,084,472
外国 ユーロ	フランス	百株 232.38 (－)	千ユーロ 38,375 (－)	百株 20.73	千ユーロ 3,281
外国 ユーロ	イタリア	百株 603.66 (－)	千ユーロ 3,159 (－)	百株 705.51	千ユーロ 3,641

（注１）金額は受渡代金です。
（注２）（　）内は、株式分割、増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a)期中の株式売買金額	60,394,199千円
(b)期中の平均組入株式時価総額	96,360,081千円
(c)売買高比率 (a)／(b)	0.62

（注）(b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

■利害関係人との取引状況等（2026年３月７日から2026年９月７日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。
（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) 国内株式

銘柄		期首(前期末)	当期末	
		株数	株数	評価額
		千株	千株	千円
卸売業（100.0%）				
サンリオ		948.7	2,856.2	3,608,808
		千株	千株	千円
合計	株数・金額	948.7	2,856.2	3,608,808
	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄	<3.8%>

（注1）銘柄欄の（ ）内は、期末の国内株式評価額に対する各業種の比率です。
（注2）合計欄の< >内は、期末の純資産総額に対する評価額の比率です。
（注3）評価額の単位未満は切捨てであります。

(2) 外国株式

銘柄		期首(前期末)	当期末			業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
ICICI BANK LTD ADR		9,345.66	−	−	−	銀行
BAIDU INC -SPON ADR		2,684.7	1,437.68	14,300	2,230,179	インタラクティブ・メディアおよびサービス
MERCADOLIBRE INC		181.86	111.55	22,068	3,441,599	大規模小売り
META PLATFORMS INC		784.5	316.48	19,519	3,044,071	インタラクティブ・メディアおよびサービス
SPOTIFY TECHNOLOGY SA		1,064.8	1,036.99	56,249	8,772,101	娯楽
UBER TECHNOLOGIES INC		5,130.39	2,875.72	21,786	3,397,597	陸上運輸
DOORDASH INC		1,721.85	1,097.01	23,226	3,622,249	ホテル・レストラン・レジャー
NU HOLDINGS LTD/CAYMAN ISLANDS		20,923.2	20,426.34	31,395	4,896,094	銀行
COUPANG INC		10,309.83	−	−	−	大規模小売り
LIBERTY MEDIA CORP-LIBERTY FORMULA ONE		1,726.2	−	−	−	娯楽
SK HYNIX INC ADR		−	1,144.75	20,262	3,159,870	半導体・半導体製造装置
BLOCK INC		3,267.62	1,946.02	16,105	2,511,615	金融サービス
小計	株数・金額	57,140.61	30,392.54	224,914	35,075,379	
	銘柄数<比率>	11銘柄	9銘柄	−	<37.0%>	
(香港)		百株	百株	千香港・ドル	千円	
ALIBABA GROUP HOLDING LTD		−	11,589	127,594	2,537,862	大規模小売り
PONY AI INC		14,019	11,295	65,228	1,297,397	ソフトウェア
WERIDE INC		50,035	40,906	65,367	1,300,165	自動車用部品
小計	株数・金額	64,054	63,790	258,191	5,135,425	
	銘柄数<比率>	2銘柄	3銘柄	−	<5.4%>	
(台湾)		百株	百株	千台湾・ドル	千円	
TAIWAN SEMICONDUCTOR		11,170	7,820	1,884,620	9,287,972	半導体・半導体製造装置
小計	株数・金額	11,170	7,820	1,884,620	9,287,972	
	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄	−	<9.8%>	
(韓国)		百株	百株	千韓国・ウォン	千円	
SK HYNIX INC		971.2	992.09	163,397,223	19,049,338	半導体・半導体製造装置
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD		2,863.61	3,446.05	88,046,577	10,264,734	コンピュータ・周辺機器
小計	株数・金額	3,834.81	4,438.14	251,443,800	29,314,072	
	銘柄数<比率>	2銘柄	2銘柄	−	<30.9%>	

銘柄		期首(前期末)	当期末			業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…フランス)		百株	百株	千ユーロ	千円	
HERMES INTL		－	211.65	30,837	5,586,812	繊維・アパレル・贅沢品
小計	株数・金額	－	211.65	30,837	5,586,812	
	銘柄数<比率>	－銘柄	1銘柄	－	<5.9%>	
(ユーロ…イタリア)		百株	百株	千ユーロ	千円	
MONCLER SPA		3,016.74	2,914.89	13,361	2,420,767	繊維・アパレル・贅沢品
小計	株数・金額	3,016.74	2,914.89	13,361	2,420,767	
	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄	－	<2.6%>	
合計	株数・金額	139,216.16	109,567.22	－	86,820,429	
	銘柄数<比率>	17銘柄	17銘柄	－	<91.6%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注2) < >内は、期末の純資産総額に対する各通貨別（ユーロは国別）株式評価額の比率です。
(注3) 金額の単位未満は切捨てております。%は、小数点第2位を四捨五入しています。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

■投資信託財産の構成

2026年9月7日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	90,429,238	93.3
コール・ローン等、その他	6,467,720	6.7
投資信託財産総額	96,896,958	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てております。%は、小数点第2位を四捨五入しています。
(注2) 期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、88,686,855千円、91.5%です。
(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2026年9月7日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝155.95円、1香港・ドル＝19.89円、1台湾・ドル＝4.928円、1デンマーク・クローネ＝24.24円、100韓国・ウォン＝11.658円、1ユーロ＝181.17円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年９月７日)現在

項目	当期末
(A) 資産	**96,976,577,754円**
コール・ローン等	6,424,257,291
株式(評価額)	90,429,238,419
未収入金	119,698,966
未収配当金	3,383,078
(B) 負債	**2,152,993,206**
未払金	79,840,232
未払解約金	121,026,459
未払信託報酬	1,951,063,054
その他未払費用	1,063,461
(C) 純資産総額(A－B)	**94,823,584,548**
元本	73,095,338,029
次期繰越損益金	21,728,246,519
(D) 受益権総口数	**73,095,338,029口**
１万口当たり基準価額(C／D)	**12,973円**

(注) 期首における元本額は85,576,649,909円、当期中における追加設定元本額は927,841,426円、同解約元本額は13,409,153,306円です。

■損益の状況

当期　自2026年３月７日　至2026年９月７日

項目	当期
(A) 配当等収益	**191,365,644円**
受取配当金	183,603,285
受取利息	7,629,257
その他収益金	133,102
(B) 有価証券売買損益	**11,092,171,383**
売買益	18,402,267,660
売買損	△7,310,096,277
(C) 信託報酬等	**△2,167,698,657**
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	**9,115,838,370**
(E) 前期繰越損益金	**8,125,242,103**
(F) 追加信託差損益金	**4,487,166,046**
(配当等相当額)	(829,446,447)
(売買損益相当額)	(3,657,719,599)
(G) 合計(D＋E＋F)	**21,728,246,519**
次期繰越損益金(G)	**21,728,246,519**
追加信託差損益金	4,487,166,046
(配当等相当額)	(829,446,447)
(売買損益相当額)	(3,657,719,599)
分配準備積立金	17,241,080,473

(注１) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注２) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注３) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注４) 信託財産の運用の指図に係る権限を委託するために要する費用は、当期は1,439,357,900円で、委託者報酬から支弁しております。
(注５) 分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	154,514,767円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	8,961,323,603
(c) 収益調整金	4,487,166,046
(d) 分配準備積立金	8,125,242,103
(e) 当期分配対象額(a＋b＋c＋d)	21,728,246,519
(f) １万口当たり当期分配対象額	2,972.59
(g) 分配金	0
(h) １万口当たり分配金	0

■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては基準価額水準等を勘案し、無分配とさせていただきました。

《お知らせ》

約款変更のお知らせ

■「一般社団法人投資信託協会」の名称変更に伴い、約款における記載を「一般社団法人資産運用業協会」に変更しました。

（2026年４月１日）